

嘉川小学校は、地域とともに子供たちの成長を支えるコミュニティ・スクールです



嘉川小学校便り 9月号

山口市立嘉川小学校 (平成30年9月1日発行)

〒754-0897 山口市嘉川4986番地 ☎ 083-989-2206

ホームページのアドレス <http://www.yamaguchi-ygc.ed.jp/kagawa-e/>



保護者の皆様、地域の皆様、7月、8月と暑い日が続きましたが、元気にお過ごしでしょうか。最高気温が30℃なら暑くない日だと感じるのは私だけではないと思います。酷暑という言葉が本当にあてはまる夏でした。

この夏、周防大島町では、2歳の子どもが行方不明になり、ボランティアの尾畠春夫さんに発見されました。尾畠さんは、全国各地でボランティアをされており、その素晴らしい生き方が報道され、話題となっています。嘉川地区にも、尾畠さんと同じようにボランティアをなさっている方がたくさんおられます。学校の身近な方而言えば、西村さんがその一人です。この暑さの中でも、毎日学校の芝生の管理をさせていただいている西村さんには、本当に頭がさがります。芝生の状況にあわせて水をまいたり、真夏の日差しが肌を焼くような暑さの中で芝生に肥料を与えたりされています。本当にありがたいと思っています。

西村さんとお話をしていたときに、次のようなお言葉をいただきました。

「先生たちには、教育に専念してほしい。そのために、自分ができる芝生や畑のお手伝いをしているだけです。」

本校は、JRC(青少年赤十字)に加盟しています。JRCでは、地域や世界の人びとの平和や福祉に貢献するような活動を行うことを推進しています。8月8日から2泊3日で4名の児童がJRCのリーダーシップトレーニングセンター(トレセン)に参加しました。トレセンでは、救急法やフィールドワークなど様々な活動を通して、リーダーとしてのあり方や協力する姿勢を学びました。中でも、他人のために自分が今できることを行うボランタリーサービス(VS)について学んだことは、子どもたちのこれからの生き方に大きな影響を与えてくれると信じています。

日本では、毎年、地震、津波、風災害(台風、豪雨、雷、竜巻)、雪害、火山災害など数多くの災害が発生しています。災害が発生したときに自ら身を守ることは最も重要なことですが、他の人と協力して逃げたり、復興に力を貸したりすることも重要なことです。この時に必要な能力がリーダーシップであり、VSの考え方だと思います。私は、日頃からリーダーシップを発揮したり、VSを行ったりすることは、災害等に出会ったときに役に立つ大きな力につながるとと思っています。

さて、話をもとに戻します。西村さんが日々行っておられることは、JRCでいうVSです。西村さんは、ご自身の得意なこと(農業や芝生の管理)を、他の人(子どもたちや学校)のために生かしておられます。私は、すべての子どもたちが自分の得意な分野でVSを行う学校になると良いと思います。算数の得意な子はその能力を生かして算数の苦手な子に教える。力持ちの子は重い物を運ぶときに率先して働く。話を聞くことが得意な子は、悩んでいる友達に寄り添って話を聞く。そんな得意分野を生かした子どもたちであってほしいと願っています。そして将来、子どもたちが育ち、嘉川や他の地域に住んだとき、それぞれの地域で西村さんのような存在になってほしいと思います。嘉川出身の子どもたちが、世界のいろいろな地域で活躍することを願いながら、暑さと戦うこの夏でした。